

水道の災害への取組

～ 全国訓練を実施します ～

公益社団法人 日本水道協会

● 全国の水道事業者による相互応援のネットワーク※1



被災した水道事業者の給水を早期に確保するため、

全国の水道事業者による相互応援(応急給水・応急復旧)のネットワークがあります

【ネットワークを活用した支援例】

-新潟県中越地震-	-東日本大震災-	-平成28年熊本地震-
2004年10月23日 発生 マグニチュード6.8 最大震度7	2011年3月11日 発生 マグニチュード9.0 最大震度7	2016年4月14日 発生 マグニチュード7.3 最大震度7
断水:約13万戸	断水:約257万戸	断水:約45万戸
応援給水車…延1,031台 応援人数…延2,270人 活動期間…39日間	応援給水車…延13,800台 応援人数…延約41,400人 活動期間…152日間	応援給水車…延約1,650台 応援人数…延約14,300人 活動期間…68日間

ネットワークのイメージ

※1 「地震等緊急時対応の手引き」 公益社団法人日本水道協会による相互応援の仕組み

● 懸念される巨大地震

今後、南海トラフ巨大地震※2や首都直下地震※3の発生が懸念されています
これらの巨大地震では、

広域・長期にわたる断水が起こる可能性があります

※2 中央防災会議 防災対策推進検討会議 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ

南海トラフ巨大地震の被害想定について(第二次報告)～ 施設等の被害 ～【定量的な被害量(都府県別の被害)】平成25年3月18日

※3 中央防災会議 首都直下地震対策検討ワーキンググループ 首都直下地震の被害想定と対策について(最終報告)平成25年12月



● そんな災害に備えるために、全国訓練※4を実施します

南海トラフ巨大地震などの大規模災害が発生し、全国での応援が必要になることを想定した、

全国の水道事業者が参加する訓練を実施します

第1段！ 平成29年度情報伝達訓練

災害が起きてしまったら、速やかに被災状況を伝え、必要な応援を要請することが大切です

応援する側も迅速な出勤に備え、応援体制を整える必要があります

そこで、全国各地の水道事業者が参加し、情報連絡体制、応援体制の確認をする情報伝達訓練を実施します

● 実施日:平成30年1月24日

● 実施場所等:日本水道協会及び全国の訓練参加水道事業者で、電話・E-mailを連絡手段として実施します

第2段！ 平成30年度応援訓練

応援要請を受けると、応援する事業者は、必要に応じて給水車などで被災地に駆けつけます

そして、給水車で水を配ったり、破損した管路の応急修理を行います

それらの活動をスムーズに行えるよう、合同の応急給水や応急復旧訓練を実施します

● 実施日:平成30年11月6日・7日

● 実施場所等:静岡市に全国から給水車等が参集して実施します

※4 正式名称「日本水道協会 全国地震等緊急時訓練」

【全国訓練に関するお問い合わせ先】

日本水道協会 調査部調査課 全国訓練担当
TEL:03-3264-2359 E-mail:cho-sa@jwwa.or.jp
所在地:東京都千代田区九段南4-8-9

水道事業の連携強化!!

災害対応能力の向上!!